

関西大学経済・政治研究所 第213回産業セミナー

聴講自由

【開講の挨拶】

本セミナーは、大阪を中心に関西全域を視野に入れつつ、近代の大阪がどのようにアジアとの経済関係を構築したのか、様々な事例研究を踏まえて検討することを目的としております。

19世紀後半から大阪は紡績業を中心に日本経済を支えました。貿易面では神戸が横浜と共に日本経済を牽引しました。そのため大阪と近代アジアの経済関係を考える時、神戸は無視できるものではありません。そのため本日は近代神戸を中心に考察します。

＜アジアにおける近代大阪の発展研究班 主幹 西村 雄志＞

日 時：平成27年11月18日(水)13:00～16:10
会 場：りそな銀行大阪本社 地下2階講堂

【テーマと報告者】

「日本一の貿易港神戸が産んだ日本一」

アジアにおける近代大阪の発展研究班委嘱研究員

関西学院大学・商学部教授

木 山 実

「関西に見る総合水産会社の生成と発展」

アジアにおける近代大阪の発展研究班委嘱研究員

流通科学大学・商学部教授

加藤慶一郎

- ◆ 対象者 経営者、企業・行政関係者、社会人
- ◆ 聴講自由 参加ご希望の方は、当日会場にお越しください。(定員70名)
- ◆ 連絡先 〒564-8680 吹田市山手町3丁目3番35号
関西大学研究所事務グループ TEL (06) 6368-1179/FAX (06) 6339-7721
<http://www.kansai-u.ac.jp/Keiseiken/>

主 催 関西大学経済・政治研究所
後 援 大阪商工会議所
大阪工業会連合会
大阪産業経営協会
株式会社りそな銀行



関西大学



130
KANSAI
UNIVERSITY